

(別紙5)

整理番号 2020M-030
補助事業名 2020年度 レーザポインタの安全・安心推進に関する標準化調査研究
補助事業者名 一般財団法人光産業技術振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

レーザーポインタの適切な活用事例や諸外国の取組等を広報することで、レーザー機器を正しく理解し無用な事故の未然防止に資すること。

(2) 実施内容

① レーザポインタの安全・安心推進に関する標準化調査研究委員会

下記の項目について検討。

- i. レーザ機器の安全性についての普及啓発
- ii. レーザポインタの安全・安心推進に関する標準化国際シンポジウムの開催
- iii. 国際標準化会議への専門家派遣ならびに標準化の動向調査
- iv. レーザポインタに関する海外法規の調査（翻訳等）

② 標準化国際シンポジウム

- i. 可視光領域のレーザー応用とその安全性に関する最近のトピックス

近畿大学 橋新 裕一教授

- ii. レーザガイド星システム用の航空機回避システムとその運用

大双眼望遠鏡（LBT）天文台（米国） Mr. Gustavo Rahmer

- iii. 新中国規格『レーザーポインタ製品の光放射に対する要求事項』の概要とねらい

中国科学院航空宇宙情報革新研究院 呉愛平(Aiping Wu)氏

- iv. 高出力青色ダイレクトダイオードレーザーの加工応用とそのレーザー安全性

レーザーライン株式会社 皆川 邦彦氏

<http://www.oitda.or.jp/main/keirin/optonews-JKA2020-symposium.pdf>

OPTO News オプトニュース Vol.16, No.1 (2021)	
目次	
1. ご案内	
光産会創立40周年記念事業	1
第31回 光産業技術振興協会 標準化二部会報告書 発表	2
2021年度『光技術動向』光産業動向セミナー	3
2. 協会事業	
レーザーポインタの安全・安心推進に関する 標準化国際シンポジウム	8
3. テクノロジートレンド	
Beyond 5Gに向けた後継・異動動向技術の動向	11
空間制御レーザー加工とその社会実装	17
CO ₂ レーザー加工による半導体加工—現状、課題、将来的課題—	23
4. リサーチ＆アナリシス	
光伝送網の多量伝送技術に関する標準化動向	31
XR技術と実用化ディスプレイ	36
5. 開催案内	
オンラインセミナー	40
研究会開催案内	41
6. 協賛案内	42
7. お知らせ	
SDMF21	46
研究会 会員募集	47

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

携帯型レーザーポインタは、消費生活用製品安全法で規制されているにもかかわらず、悪質な事件も発生しており、またレーザー機器に起因する事故件数も増加傾向となっている。加えて、個人輸入サイトから高出力レーザーポインタが容易に入手できる状況となっており、誤った利用あるいは悪意による事故の増大に拍車をかけている。

一方で、正確でまとまった事故情報がなくレーザーは危ないという漠然としたイメージが国民に定着することで、レーザー関連産業の健全な発展を阻害する懸念もある。

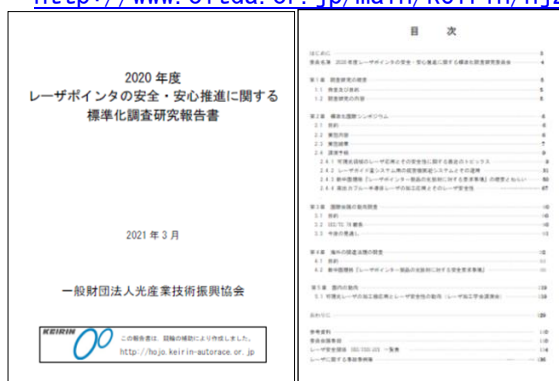
本調査研究では、レーザーポインタの適切な活用事例や諸外国の取組等を広報することで、レーザー機器を正しく理解し無用な事故を未然に防ぐ効果がある。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

2020年度レーザーポインタの安全・安心推進に関する標準化調査研究報告書

<http://www.oitda.or.jp/main/keirin/hj202001.pdf>



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人光産業技術振興協会

(ヒカリサンギョウギジュツシンコウキョウカイ)

住所： 〒112-0014 東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階

代表者： 理事長 東原 敏昭 (ヒガシハラ トシアキ)

担当部署： 開発部 (カイハツブ)

担当者名： 次長 澤野 弘 (サワノ ヒロシ)

電話番号： 03-5225-6431

F A X： 03-5225-6435

E-mail： opt-st@oitda.or.jp

U R L： <http://www.oitda.or.jp/>